

都留市パブリック・コメント制度 意見募集結果

【案件名】「第5次都留市長期総合計画後期基本計画（素案）について」

意見提出期間		平成23年1月4日～21日	
結果公表日		平成23年1月31日	
意見等の提出件数		提出者 5名、提出項目 10件	
意見等の提出方法		メール1名、FAX3名、持参1名	
番号	意見等の内容	件数	市の考え方
①	<p>分野Ⅰ「教育首都つるを目指したまちづくり」について</p> <p>○政策の実施にあたって、一部の部署などに仕事が集中したり、市民の良心やボランティア頼みにならないような人員配置をしっかりと検討する必要がある。</p>	1	<p>「教育首都つる」の実現のためには、学校教育や生涯教育はもとより、都留文科大学の知的資源としての活用など、まち全体が取り組む必要があります。市としても、今後も適切な人員配置を行い、市民・市民団体を始めとするまちづくりの主体との協働により、役割分担を明確にし、また連携しながら、効果的な施策、事業の実施に努めます。</p>
②	<p>分野Ⅰ・政策3・施策③「スポーツ・レクリエーションの振興」について</p> <p>○代表で活躍する選手には、物や金銭だけでなく、心のこもった言葉をかける場の設定がもっと必要である。</p>	1	<p>高いレベルの競技者の国際的、全国的な活躍を支援するため、市民の声が届けられるような激励会や報告会などの機会を設け、また、明日を担う子供たちや地域の住民に感動や勇気を与えられるように、その情報を広く発信していきます。</p>
③	<p>分野Ⅰ・政策4・施策②「文化によるまちづくりの推進」について</p> <p>○博物館を表す地図の市民への配布や駅舎への設置、また、まるごと博物館をつなぐような交通網の整備を望みたい。</p>	1	<p>市、市民、事業者との協働による新しい公共交通システムのあり方を検討する「都留市地域公共交通会議」との連携を図る中、バス・鉄道などを有効的に活用するなど、「まるごと博物館つる」事業の充実を図ります。</p>
④	<p>分野Ⅲ・政策1・施策⑤「公園・緑地の整備」について</p> <p>○ポケットパークの整備と緑化の推進は事業内容がほぼ同じなのではないか。</p>	1	<p>市民の憩いの場としての「ポケットパーク」の整備を引き続き検討していきます。また、並行する事業として、既存の公園を始めとする市内の公園やポケットパークなどに、地域特性に応じた緑化の推進を図ることとします。</p>

⑤	<p>分野Ⅳ・政策 1 「地域協働のまちづくり」について</p> <p>○市は補助金だけでなく、今後の方針などを明確に示すことが必要に感じます。現在のような市民ボランティアの形だけでは継続が不可能な地域も出るのではと懸念されます。</p>	1	<p>22年度で10年目を迎えた「地域協働」での取り組みは、市内全地区での推進会の設立により、各地域の特色を活かした活動を展開していただいています。しかし、課題が多くあることも事実です。市としても、活動費としての補助金のあり方や地域の協働を担う</p>
⑥	<p>分野Ⅳ・政策 1 ・施策③「地域協働のまちづくりの推進」について</p> <p>○協働のまちづくりの推進においては、各地域で熱心な活動が行われているが、もっと地域に根ざした活動にするためには、多くの人に関わってもらうことが大事だと考えます。理想は、市民一人ひとりが関わりながら創られるまちづくりであります。さらなる協働のまちづくりを推進するにあたり、行政と住民が一体となれるような政策を望みます。</p>	1	<p>人材育成など、地域の課題解決のための施策と事業展開を進める中で、市民や市民活動団体、また事業者を含めた責任ある役割分担と補完をしながら、さらなる協働のまちづくりを推進します。</p>
⑦	<p>分野Ⅳ・政策 2 ・施策「男女共同参画の推進」について</p> <p>○男女共同に関しては、意識も少しずつですが、変わりつつあります。しかし施策を拝見するとやや女性の地位確立を求める比重が多いとも感じます。</p> <p>男性目線の講演会等の開催など事業や施策を進める中で、自然と男女共同参画社会が実現されることを望みます。</p> <p>また、都留市男女共同参画推進委員会は、非常に高いレベルで活動されていると思いますので、引き続き維持できるような人材の育成が鍵となってくると思います。</p>	1	<p>全国に先駆けて「男女共同参画基本条例」を制定し、その推進に取り組んできた本市において、人権の尊重、職場環境の充実、さらには生活の多様化によるライフスタイルの変遷に応じた家庭づくりなど、これらの取り組みは現代社会においては大変重要な施策であります。その中で、都留市男女共同参画推進委員会の活動において、また、委員経験者や女性政策塾の修了生の方々にも、意識啓発から市政参画など、様々な場面で活躍いただいております。今後も、この条例における基本理念に基づく施策、事業を進めるとともに、人材の育成にも配慮した事業内容の充実を図っていきます。</p>
⑧	<p>分野Ⅳ・政策 2 ・施策②「男女ともに能力を發揮する機会の確保」について</p> <p>○自治会役員などへの女性の参画はまだまだ難しいと思います。風土や慣習を変えていくには、女性政策塾修了生などを増やし、地域で女性が協力できる体制をつくる必要があると思います。今後も女性の政策決定の場への参画やエンパワーメント（力をつけること）の向上を支援する事業の実施を希望します。</p>	1	

<p>⑨ 分野Ⅳ・政策２・施策③「いきいきと働くことができる職場づくり」について</p> <p>○最近メディアで男性の育児休暇の取得やワークライフバランスなど取り上げられていることからわかるように、社会が大きく変わりつつある。</p> <p>今後、この活動を浸透させるために、市役所自体が事業所のモデルケースとなるなど、推進体制を充実させ、各事業所や市民への啓蒙活動及び指導と情報発信をしていく中で、それぞれの取り組みを支援する必要があるのではないだろうか。今後も男女共同参画推進活動が浸透し、一層住みよいまちとなるよう願っている。</p>	<p>1</p>	<p>男女が共に仕事と家庭を両立させ、生涯を通じて充実した職業生活を送れるよう、市役所も事業所の一つとして、その運用に努めていきたいと考えます。また、市内の取り組み状況を把握し、啓蒙を進める中で、時代のライフスタイルとニーズに合った事業計画と情報の共有・発信を推進しながら、「いきいきと働くことができる職場づくり」に努めてまいります。</p>
<p>⑩ 分野Ⅳ・政策２・施策④「お互いが自立し、共に支え合う家庭づくり」について</p> <p>○少子高齢化社会だからこそ、共に支え合わなくては暮らしていけない現状があります。最近では、息子が家事・育児をすることに抵抗がなくなってきました。お互いを尊重し協力し合う家庭づくりや健常者と障害者が隔たりなく暮らせる社会づくりを望みます。</p>	<p>1</p>	<p>すべての人が、それぞれのライフスタイルに応じて、お互いを尊重し、協力し合う家庭づくりのため、子育て支援、日曜両親学級、介護教室などの開催や各種保健事業を充実させ、心とからだの健康づくりが図れるような施策を推進していきます。</p>